

個々の問題の出題の意図及びその正答率

社会 中学校 第1学年

領域	問題番号			出題の意図	評価の観点			正答率
	大問	小問	通番		思考・判断	観察・資料活用・表現	知識・理解	
地理的分野	1	1	1	地球上の位置関係を表すために使われる緯度や経度について、地図上だけでなく、地球の断面図上や地球儀などを活用してとらえることができる。				56.7
		2	2	15度で1時間の時差ができる基本的な仕組みを活用し、明石とカイロの時差を計算して求め、さらに地球の自転の向きを考えることで、カイロの現地時刻について求めることができる。				55.9
		3	3	正距方位図法を活用して、地図の中心に位置している東京から最も遠くに位置する都市を読み取ることができる。				85.5
	2	1	4	岐阜県の農業についての特色を、表やグラフをもとに考えることができる。				65.5
		2	5	調査した数値をグラフに示すことで、地域の特色を表現することができる。				25.8
	3	1	6	八方位を用いて、ある地点から見た別の地点の方位を正しく理解している。				75.0
		2	7	地図記号を読み取り、土地の利用状況を正しく理解している。				60.6
		3	8	縮尺の意味を理解し、地形図上のある地点からある地点までの直線距離から実際の距離を地形図のスケールや定規などを用いて求めることができる。				69.2
		4	9	等高線を読み取り、断面図として表現することができる。				48.4
	4	1	10	与えられた情報を手がかりとして、実際に略地図に書き表すことができる。				33.4
歴史的分野	5	1	11	年表を読み取る基本事項として、時代区分について理解している。				63.5
		2	12	各時代の主な出来事や資料から、時代の特色をつかみ、時代の流れを判断することができる。				64.3
		3	13	「世紀」について、正しく理解している。				52.2
		4	14	遣唐使の停止をきっかけにして、平安時代の文化が国風化していったことを考えることができる。				69.2
		5	15	時代の特色を示すことがらや代表的な資料（十七条の憲法）について、その内容を読み取ることができる。				77.6
		6	16	鎌倉時代の人々の生活の様子について、他の時代の特色とのちがいを考えて、判断することができる。				47.8
		7	17	豊臣秀吉が城を築き、全国統一の本拠地とした大阪府について、地図上でその位置を正しく理解している。				60.3
	6	1	18	各時代の様子を示す文化財から、室町時代の代表的な文化財を選び、その特色を理解している。				41.4
		2	19	南蛮文化が桃山文化に影響を与えたことを理解している。				57.8
	7	1	20	奈良時代には、一般の人々の中には様々な税の負担から逃れるために、逃亡するものも現れたことを、二つの資料を関わらせながら、キーワードを活用して適切に説明することができる。				22.4